

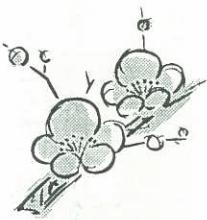
むつみ

第54号 2008. 1



福島県土地改良団体職員連絡協議会

新年のご挨拶



福島県土地改良団体職員連絡協議会

会長 石神正雄

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

会員の皆様には、お健やかに輝かしい新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げますとともに、平素より当協議会に対しまして多大なご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、今年は、昭和から元号が平成と改まり二十年の節目を迎えた年でもあり、一月二日、三日と毎年行われる大学箱根駅伝でも、平成生まれの選手達が大活躍し、話題となりました。

箱根駅伝は毎年のようにドラマがありますが、昨年の覇者、順天堂大学は5区で涙の途中棄権、昨年同じ5区で活躍した原町高校出身の今井正人選手の激走を回想し、駅伝の厳しさ、難しさを思い知らされました。

県内出身の選手の活躍は目ざましいものがありまして、特に駒澤大学の安西秀幸選手（会津高校出身）は区間2位の快走でテレビから目が放せない状態で感動いたしました。

「子年」は、変革の年とも言われておりますが、農政では相変わらず米価格の下落、生産調整は益々厳しい状況下におかれております。なぜか、駅伝スポーツと相通じるものがあるような気がしてなりません。

さて、本協議会の平成十九年度の総会は、去る七月十日午後一時三十

分よりいわき市常磐、スパリゾートハワイアンズ会議室において、来賓のご臨席のもと開催し、特別功労者の前会長棚木均様を始め、本協議会の発足当時からご尽力頂いた大木倉吉様、そして十七名の永年勤続会員の表彰が出来ましたことは本協議会の最も喜びとするところであり、さらなるご活躍をご期待申し上げる次第であります。

引き続き議案の審議では、矢吹西部土地改良区の武田博之議長様の議事進行により平成十八年度事業報告、収支決算の承認をはじめ、平成十九年度補正予算、平成二十年度事業計画、収支予算について、役員の補欠選任についての以上七議案を満場一致でご承認いただきました。

又、講演では、水土里ネット会津北部における農地情報G I Sの整備状況をはじめ、水土里ネット福島副会長、鮫川堰土地改良区の若松理事長の流暢なそして体験談を含めた貴重なご講話、最後に昨年映画で話題となつた「フラガール」の育ての親とも言うべきスパリゾートハワイアンズ営業部長、坂本様による炭礎から観光への大変革などハワイアンズの沿革を苦労話を含めてご講演いただきました。

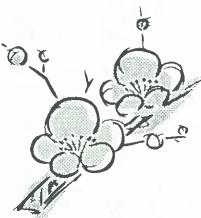
翌日は、水土里ネット愛谷堰で現地研修をさせて頂き、菅波局長をはじめ、スタッフの皆様には大変お世話になりました。

九月二十七日、二十八日の二日間にわたり実施いたしました先進地県外視察研修は二十八名の参加者で、山形県の水土里ネットいなば、水土里ネット寒河江川のそれぞれ土地改良区を研修いたしました。

両土地改良区では、二十一世紀土地改良区創造運動を積極的に実施されており、何れの理事長さんも土地改良区運営について自信に満ちたご挨拶に参加者全員が圧倒された次第であります。視察地に相応しい優良土地改良区で有意義な研修を実施することが出来ました。

今後も会員の要望に沿った先進地視察研修を実施する計画であります。が毎年参加者が少ない情況でありますので、一層のご協力を願うする次第であります。

最後になりましたが、会員の皆様には呉々もご健康に留意され、ご活躍くださいますようお願い申し上げ、挨拶と致します。



新年のごあいさつ



水土里ネット福島
(福島県土地改良事業団体連合会)

専務理事 渡部敏則

機能が著しく低下し、食料の生産基盤である農地・農業用水等の適切な保全・管理が困難となつてきているうえに、本県が有する農業水利施設の多くが造成時から現在まで相当な年数を経過しており、今後、順次更新時期を迎えていくことになります。

このような背景を踏まえ、本会といたしましては福島県のご指導を頂きながら、県内の農業用水利施設の点検・診断を行い、施設の適正な保全管理計画策定のお手伝いをさせて頂くとともに、国民の社会共通資本でもある農地や農業用水等の資源を適切に保全し、活力ある農業農村づくりのために農地・水・環境保全向上対策にも地域の皆様とともに、本年度より積極的に取り組んでいるところであります。

福島県土地改良団体職員連絡協議会会員の皆様、明けましておめでとうございます。

皆様には、ご健闘で輝かしい新年を迎えたことと心からお慶び申し上げます。

また、水土里ネット福島の業務運営、農業農村整備事業の推進につきましては、特段のご理解とご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

さて、今年は本会が設立されてから五十周年という記念すべき年を迎えることとなりました。昭和三十二年の土地改良法の改正により、昭和三十三年六月十九日に本会が設立されてから半世紀を迎えることができましたことは、これもひとえに会員の皆様並びに各関係機関団体の皆様のご理解とご支援の賜と深く感謝を申し上げます。

本会といたしましては、今後とも国、県、市町村、そして土地改良区との連携の下、農業農村の持続的発展のために努力して参る所存でありますので、農業農村整備事業に係る総合コンサルタントとしての機能と実績を有する本会を積極的にご活用いただきたく存じます。

ところで、農業・農村は、食料の安定供給とともに、豊かな自然環境、美しい景観の保全など多面的な機能を有しております。

しかしながら、近年、農業農村を取り巻く環境は、農業従事者の高齢化や担い手の減少、さらには農村の過疎化・混住化等の進行に伴い集落

の理解とご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、貴協議会の益々のご発展と皆様のご健勝をご祈念申し上げまして新年のごあいさつといたします。

第三十一回総会

福島県土地改良団体職員連絡協議会第三十一回総会は、平成十九年七月十日(火)午後一時三十分よりいわき市「スパリゾートハワイアンズ」において開催された。

永峯眞副会長(会津宮川土地改良区)の開会宣言、石神正雄会長(東根堰土地改良区)の挨拶のあと、特別功労者、永年勤続表彰が行われ、表彰状の授与及び記念品が贈呈された。



表彰されました方は別表のとおりです。

受賞者の皆様おめでとうございました。ますますの御活躍をお祈りいたします。

表彰式後、いわき農林事務所長本田久門様、福島県土地改良事業団体連合会専務理事渡部敏則様より来賓祝辞をいただきました。

議長に矢吹西部土地改良区の武田博之氏が選出され、挨拶後、議事に入った。

議案第1号「平成18年度事業報告について」、議案第2号「平成18年度収支決算承認について」が一括議題として出され、事務局の説明、橋本一也代表監査員（安積疏水土地改良区）の監査結果報告の後、原案どおり承認された。

議案第3号「平成19年度補正予算（案）について」、議案第4号「平成20年度会費・協賛金の額及び徴収方法（案）について」、議案第5号「平成20年度事業計画（案）について」、議案第6号「平成20年度収支予算（案）について」は事務局の説明の後、いずれも原案どおり承認された。

議案第7号「役員の補欠選任について」は、事務局案により採決ののち、選任された。（別表のとおり）新役員の皆様には、本協議会の円滑な運営のためご活躍いただきますよう、よろしくお願ひいたします。

総会は柳内喜久子副会長（小川町土地改良区）の閉会宣言により終了した。

新役員紹介（敬称略）

副会長	福島県土地改良事業団体連合会
幹事	福島県土地改良事業団体連合会
幹事	福島県土地改良事業団体連合会
幹事	社川沿岸土地改良区



特別功労者及び永年勤続表彰

特別功労者

会津北部土地改良区
矢吹土地改良区（前）

棚木 均

三十年勤続

安達土地改良区
会津北部土地改良区

大木倉 吉

三十年勤続

安達土地改良区

佐々木 多恵子

鹿島町土地改良区

大八木 孝

福島県土地改良事業団体連合会

小林 丈 倖

福島県土地改良事業団体連合会

高野 久 夫

福島県土地改良事業団体連合会

菊池 有 子

福島県土地改良事業団体連合会

安田 明

福島県土地改良事業団体連合会

曳地 誠

二十年勤続

会津若松市湊土地改良区

鈴木 衛

雄国山麓土地改良区

那知上 由紀子

金山町土地改良区

押部 清夫

十年勤続

会津若松市湊土地改良区

五十嵐 賢一

大熊町土地改良区

川岸 博之

柏葉町土地改良区

西山 としみ

鮫川堰土地改良区

伊藤 弘美

福島県土地改良事業団体連合会

佐瀬 隆聰

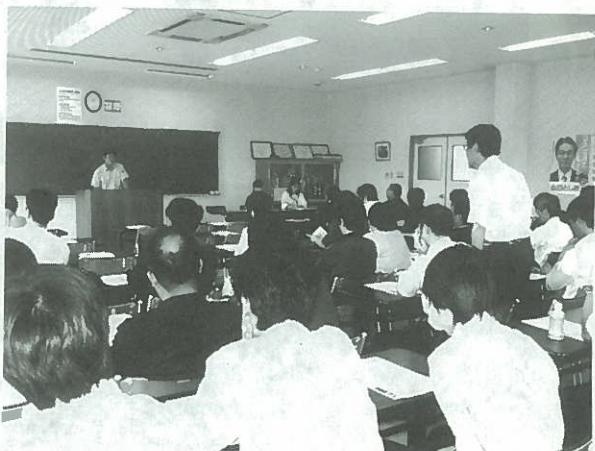
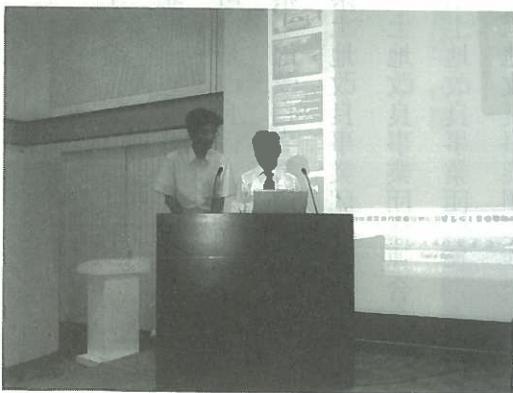


職員業務研修会

総会終了後、業務研修会が行われた。

水土里ネット福島企画指導課の谷課長、会津北部土地改良区の大八木氏、鈴木氏より「地図情報システムとその事例紹介」、水土里ネット福島副会長・鮫川堰土地改良区理事長若松氏より「土地改良雑感」、常磐興産株式会社レジャーリゾート事業部の坂本氏より「炭礎から観光へ」の講演をいただいた。

二日目の現地研修は、いわき市石炭化石館の見学と水土里ネット愛谷堰で21世紀土地改良区創造運動の取り組みについて研修した。



業務研修会についてのアンケート調査結果は別紙のとおりです。

研修時期や研修内容については、ほぼ満足をいただいたのではないかと思いますが、今後の研修会もアンケート内容を参考に実施していくかないと考えておりますので、会員の皆様の御協力をよろしくお願ひします。

業務研修会アンケート結果(受講者 70人)

回収率 43人 61%

○この研修会の開催時期について

- | | |
|------------|----------------|
| 1. ちょうど良い | <u>39人</u> 91% |
| 2. 別の時期がよい | <u>4人</u> 9% |
- (10～4月、6月中旬 もっと早く)

○研修内容はいかがでしたか

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. 大変参考になった | <u>16人</u> 37% |
| 2. ふつうである | <u>27人</u> 63% |
| 3. あまり参考にならなかった | <u>0人</u> |
- (理由はどんな点ですか)

○今後、どのような内容の研修を受けてみたいと思いますか。具体的にお書き下さい。

- ・業務運営（定款、規約等の整備）
- ・農地・水・環境保全対策事業の具体的な事例とその成果、取りまとめ方と竣工状況の資料作成等
- ・土地改良区事務運営について
- ・一般事務の指導研修
- ・色々な分野の最前線で活躍している人の講演
- ・土地改良区におけるデータベース及び水管理システムの導入事例等
- ・施設の維持管理に対する研修（土地改良施設整備補償・維持管理事業の制度内容）
- ・土地改良区の具体的な問題・疑問を取り上げて解説・説明を行うような研修
- ・賦課金徴収の対策と先進地事例・未収金等の問題について
- ・新しい取り組みや技術の研修
- ・講演と現地研修の内容が合うもの
- ・21世紀土地改良区創造運動の取り組みについて
- ・今後の土地改良事業の方向性と土地改良区のあり方

○その他、感想要望等ありましたらご記入下さい。

- ・総会及び研修会への参加率を向上するため事務局及び役員の方々の努力を望みます。
- ・地図情報システム事例紹介の説明がわかりやすく、良かった。もっと詳しく知りたい。
- ・民間会社の話を聞いて参考になった。坂本様の講演大変良かったです。
- ・若松理事長の講演に感銘を受けた。
- ・総会・講演の時間割にもっと余裕をもった方がよいと思う。
- ・開催地の設定が浜通り・中通り・会津になっているが、参加するのが大変なので県北、県中位に設定してもらいたい。

第30回

全国土地改良大会～三重大会～

「かなでよう水土里の三重奏 のこそう心のふるさと」

第30回全国土地改良大会・三重大会が、平成19年10月24日(水)午後1時より三重県伊勢市サンアリーナにおいて開催された。

全国から約3,500名の土地改良関係者が集い、農業農村の重要性とそれを支える農業農村整備の役割を広く国民にアピールするとともに、新たな農政の展開について確認しあった。

式典では、水土里ネット三重の服部忠行会長が開催県を代表し、「先人たちが立派に築いてきた水・土・里を農家、非農家、農村・都市住民を問わず、国民が一体となって次世代に継承していくことを、声を大にして訴えていこう」と挨拶した。

続いて、全国水土里ネット（水土里ネット京都）野中広務会長が主催者を代表し、「時代の変化の大きなうねりの中にいる現在、わが国の食料自給率は39%となってしまった。今こそこれまで土地改良が果たしてきた役割を見つめ直し足下をしっかりと確認した上で、未来に向かって新たな一歩を踏み出す時期にきているのではないか。農業を巡る情勢も大変厳しい中、大切なことは、生産者のために、地域農業のために何が最善かを常に考え、その土台となる水のネットワークや土のネットワークをわれわれ水土里ネットが中心となって守っていくことではないか。その上で人と人とのネットワークを再構築し、関係者が一丸となって農業・農村の振興に取り組んで行くことが必要ではないか。」と述べた。

このあと、来賓祝辞、土地改良事業功労者表彰式、21世紀土地改良区創造運動大賞表彰式が行われ、本県からは若松昭雄鯨川堰土地改良区理事長が「農林水産大臣表彰」を、高橋磯吉棚倉町土地改良区理事長が「農村振興局長表彰」を、春日部良一布藤堰土地改良区理事長が「全土連会長表彰」を受賞した。

また、本年度より21創造運動さなえ賞が創設され、21創造運動に取り組んで2年以内で、キラリと光る活動をした、将来性のある水土里ネット25団体の紹介があり、福島県からは、伊達西根堰土地改良区が受賞決定された。（表彰式はH19.12.10～11国立オリンピック記念青少年総合センターで）

農林水産省農村振興局山下次長により基調報告があり、大会宣言が地元三重大学（生物資源学部）の学生、男女2人によって「農村の水・土・里の三重奏を将来いつまでも美しく奏でられるよう、私たち水土里ネットが一致団結し、農村という豊かですばらしい心のふるさとを守り、伝えていくことを宣言する。」と力強く大会宣言が読み上げられた。

引き続き、次期開催県である水土里ネット秋田の会長より次期開催挨拶があり、水土里ネット三重より大会旗が引き継がれ、今大会の成功と、第31回秋田大会（平成20年10月14日）が盛大に開催されることを祈念し、全国水土里ネットの吹田副会長の発声により、万歳三唱が行われた。

最後に、水土里ネット三重副会長の挨拶により大会のすべてを終了した。



大 会 宣 言

21世紀に入って世界の人口は60億人を突破しました。このまま増え続ければ近い将来食料不足になるのではないかと危惧されており、多くの食料を輸入に頼っている日本も深刻な影響を受けると考えられています。

現在、我が国の自給率は40%前後と言われています。先進国の中でもこの自給率は飛びぬけて低く、今の日本の農業の脆弱さを物語る深刻な結果の一つです。日本の将来を考えると、今すぐ真剣に議論しなければならない問題であることには間違ひありません。

さらに、食の安心・安全面での問題、農業の弱体化、農村の高齢化や荒廃など、我が国の農村・農業はこの他にも様々な問題に直面しています。

自給率向上などの食料の安定供給の確保、自然環境の保全や歴史文化の伝承など農業農村が持つ多面的機能の発揮、担い手農家の確保などを通じた農業の持続的な発展の実現に向けて、これらの課題に今まで以上に真剣に取り組んでいくことが求められています。

水田農業を基軸に国土が形成されてきた我が国の長い歴史の中で、我々の土地改良は農業の持続的な発展を支えるとともに、生活用水の提供など人々の日々の暮らしから稲作文化の発展や里地里山の自然・景観の形成など多面的な役割を担ってきました。

今日においても、ほ場の大区画化などを通じて担い手の育成や食料生産の基礎を支えるとともに、約25兆円にも及ぶ水利資産の適切な維持更新に取り組み、さらには、国民共有の財産である農地や農業用水など農村の地域資源の保全に地域のけん引役となって取り組むなど、農業の持続的な発展に果たす土地改良の役割は益々重要となっています。

今、私達水土里ネットに求められていることは、これまで土地改良が果たしてきた役割を改めて見つめ直すとともに、今後の農業農村のあり方を見据え、先人達が守り育んできた水、土、里を後世に伝えるべく真剣に努力していくことではないでしょうか。

農業農村の持続的な発展に向けて、時代や環境の変化に応じながら土地改良に取り組んでいくことは私達「水土里ネット」の原点であります。また、地産地消やグリーンツーリズムなど新たな動きの中で、農村と都市をつなぐ橋渡しの役目を担っていくのも「水土里ネット」の使命であります。

農村の水・土・里の三重奏を将来いつまでも美しく奏でられるよう、私達水土里ネットが一致団結し、農村という豊かで素晴らしい心のふるさとを守り、伝えていくことをここ三重で宣言いたします。

平成19年10月24日
第30回全国土地改良大会



☆農村振興局長表彰
☆全国土地改良事業団体連合会会長表彰



☆農村振興局長表彰



高 橋 磯 吉 氏
棚倉町土地改良区理事長

春 日 部 良 一 氏
水土里ネット福島監事
布藤堰土地改良区理事長

土地改良事業功績者

若 松 昭 雄 氏
水土里ネット福島副会長
鮫川堰土地改良区理事長



県北支部
渡辺洋子

研修…

とても残念なニュースからで申し
けありません。

平成十九年九月四日に、元伊達西
根堰土地改良区事務局長 石幡信知
氏（享年八十歳）が、ご逝去されま
した。

九月八日の告別式は、故人の遺徳
を偲ぶ多数の参列者に見守られ、し
めやかに執り行われました。
謹んでご冥福をお祈り申し上げま
す。

■平成19年開催済み事業

①平成19年1月10日(水)

県北管内土地改良区役員・職員・
市町村担当職員研修会

ホテル福島グリーンパレスにて
講演…日本の農業・農村の展望に
ついて

参議院議員・

全国水土里ネット

顧問 段本 幸男氏

企画指導課
水土里ネット福島総務企画部

等)

(2) 岩手県岩手郡葛巻町
新エネルギーの町くずまさき

課長 村松 秀則氏

(2) 岩手県岩手郡葛巻町
コンクリート構造物診断と補
修（簡易補修等による機能回

課長 小林 剛氏
参加者…県北農林事務所長
外108名

への取り組みとバイオマス
ガス化（木質、畜ふん）発
電施設と利用施設、風力発
電所視察

②平成19年2月19日(月)

県北支部第48回通常総会
土地改良会館大會議室にて

議案第1号 平成17年度事業報告

の承認について 他4議案
(全て原案通り承認決定)

農政部農村整備室農村計画
P R施工現地視察

農政部農村整備室農村計画
P R施工現地視察

参加者…県北農林事務所長
外24名

課長 斎藤 勇人氏
技術三上 俊助氏
参加者…県北農林事務所農村整備
部長 外23名

③平成19年11月1日(木)～2日(金)

農業農村整備事業（県外視察）研
修

岩手県葛巻町・岩手市にて

研修…

(1) バス車中研修

・視察研修の予備知識として
事業担当者研修会及び意見交換会

事業担当者研修会及び意見交換会
土地改良会館大會議室及び杉妻会
館にて

④平成19年11月28日(水)

県北農林事務所管内農業農村整備
事業内容

について

(1) 農業農村整備事業の事業内容
について

研修…

県北農林事務所農村整備部
農地計画グループ

課長 村松 秀則氏

農地計画グループ

課長 村松 秀則氏

農地計画グループ

課長 村松 秀則氏

農地計画グループ

課長 村松 秀則氏

葛巻町農村環境工ネルギー室
課環境エネルギー室
室長 近藤 勝義氏

復手法)

県北農林事務所農村整備部

農地計画グループ

主査 佐藤 秀雄氏

(3)緊急時の連絡体制と災害の取り組みについて

県北農林事務所農村整備部

農業基盤整備グループ

主任主査 富山 元氏

(4)農地・水・環境保全向上対策の留意事項について

県北農林事務所農村整備部

環境整備グループ

主任主査 近野 一夫氏

(5)機電関係施設の保守点検の留意事項について

(電気) 土地連環境整備部

集落排水課

主任主査 阿部 真治氏

(機械) 土地連環境整備部

農地建設課

主任主査 菊地 勇一氏

(6)水土里情報システム(地理情報)について

(利活用事業) 土地連総務企画部企画指導課

課長 谷 孝樹氏

(システム等) 土地連総務企画部企画指導課

主任主査 松浦 孝義氏

(県北農林事務所主催)

参加者…県北農林事務所長
外61名

⑤平成19年12月11日(火)～12日(水)

第15回県北方部土地改良区職員研修会(職連協協賛)

山房 月之瀬にて

研修…

(1)県北管内農業農村整備事業について

県北農林事務所農村整備部

農地計画グループ

課長 村松 秀則氏

(2)土地改良施設維持管理計画書の作成及び法手続きについて

県北農林事務所農村整備部

農地計画グループ

主査 安斎 通氏

(福島市土地改良区当番)

参加者…県北農林事務所農村整備部農地計画グループ課長
外21名

☆平成19年は「偽」の年で、「衣・食・住」全てに不安を感じさせられました。
今年は、安全・安心な一年であります様に心よりお祈り申しあげます。



縣中支部

佐藤信夫

今年も職員連絡協議会「むつみ」への寄稿依頼が届きました。支部の状況、日頃考へてゐる事を書けといふ事ですが、今年は会員の方にお願いしようと二、三声をかけましたが、結局同意が得られず又、私が書く事になりました。

会員との話の中で、総会浜中会津持ち回りになつてゐるが遠くて大へん、研修の内容も職員のための内容ではない、そんな声も出ておりますのでお伝えしておきます。

十二月六日の福島民報に過剰米作付で罰則という記事が掲載されました。福島県は全国ワーストワン、千葉、茨城がこれに続いているとのこと。これが福島県にどの様な影響があるのか判りませんが、国は県に、県は市町村に、市町村は地域にいろいろな圧力をかけるのだろうと思ひます。貿易の自由化という流れの中で、生産調整の機能はもう破綻しているのではないだろうか。

さてこの様な状況の中で今年も一泊二日の行程で宮城県の方へ視察研修に行つてまいりました。一日目はほ場整備を契機とした農地集積、集

落営農、さらには集落営農から法人化への動き等について話を聞いてまいりました。

大崎市

大崎市（旧古川市）の近く加美町の加美郡西部土地改良区に伺ったのですが、事業に伴うソフト事業の補助金をうまく活用し事業費の軽減を図つてはいるとの説明でした。

の状況等を組合員に周知している様です。

二日目は、農業と他産業（建設業）との融合、さらに有機栽培といふテーマで、大崎市の農業生産法人有ヒーローで話を聴いてまいりまし

べき点も何点がありました。相手方からの質問に十分答えられなかつたこと、研修に行くからには、自分の管内の状況位は把握しておくこと、訪問の時間がずれたこと、バスがサンバス（後部座席）で座りごこちが悪かったこと、バス内の禁煙を徹底しなかつたこと、等々反省点の多い研修会でありました。参加者の皆様に心からお詫び申し上げます。

管内土地改良区も昨年の清根町土地改良区の解散に続いて今年三月石川町土地改良区が解散し、この後二、三土地改良区が縮小、解散に向け手続きに入っています。

手続きも大へんでしうが、ご苦労様と申し上げ、県中支部のご報告と致します。

縣南支部

そうですが、残念ながら福島県の関係部署では、建設業者が農業に参入する事については後向きの考え方の様です。（協会関係者談）

以上二例の研修内容について、概略説明しましたが詳しく述べたい方は佐藤まで。いずれの研修先も資料の準備等、親切に対応して頂きまし

以上二例の研修内容について、概略説明しましたが詳しく知りたい方は佐藤まで。いずれの研修先も資料の準備等、親切に対応して頂きました。他県から福島県に来た時にはそれなりによろしく対応方お願いしま

又、今回の研修については反省す

福島県土地改良団体職員連絡協議会会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

また、県南支部管内会員の皆様には、いつもお世話になつております。県南支部ですが、平成十八年度より事務所配置が建設業協会へ移転し

県
南
支
部
塩
田
有
子

また、県南支部管内会員の皆様には、いつもお世話になつております。県南支部ですが、平成十八年度より事務所配置が建設業協会へ移転し

ました。近くをお通りの際には是非お立ち寄り下さい。

さて、平成十九年度の県南支部視察研修は初の試みにて事務局長連絡協議会合同で執り行わせて頂きました。

一番のメリット面では、負担金の減価でしょうか。次に参加者の増員を図るといった二点です。

「三日間、電卓と向き合つて来ました。皆さんにこの二日間楽しんで頂き電卓と向き合つて来た甲斐がありました。また、皆さんの明るさやご協力があつてこそ、有意義な研修になりました」と思っています。また、来年も今同様、より一層努めさせて頂きますので宜しくお願ひいたします。」

研修終了後、バス内で冗談まじりでの締めの挨拶です。この言葉で締めくくれた事が今回、合同企画をして感無量であった想い出となりました。

九月十三日から十四日にかけての研修は、初日が宮城県仙台市にある仙台東土地改良区にて①二十一世紀創造運動の取り組みについて②施設の維持管理についてお話を聞きました。

①については仙台東土地改良区活性化検討委員会を設置していて

一、新しい役割を果たしながら基盤強化を図る。二、農業情勢の変化に伴い、組織の進むべき方向を考える。三、機能保持として資源保全を強化。四、関係機関との連携と充実。五、一般市民と一体の管理保全づくりと実践と様々な視点から目的を持ち取り組んでいる様子で、市街地の遊化している地区については土地改良区だけでは対応できないと、いち早く市民と接触して活性強化に取り組み新たな展開方向を模索している向上心が満ちあふれている改良区さんでありました。

二日目には、岩手県奥州市江刺区にある農事組合法人原体ファーム（特定農業法人）、こちらは、農業改革を控え、各地からの視察が絶えない集落営農組織として農業経営の多角化をテーマとして研修させて頂きました。

到着すると、小高い山に囲まれた水田地帯の中に「米ばん」という看板が掲げられていました。

米の粉で作った米粉パン、米パン。これが原体ファームの名が知れ視察が絶えない集落営農組織となつたキッカケであったようですが、今日までの過程は、苦難の連続で加工の起業、米パンづくりの技術習得、顧

客の参集方法と知恵をしぼり試行錯誤しながら邁進してきたようです。

米価が低下している今、今回の研修にて、これから農業と向き合う四、関係機関との連携と充実。五、一

般市民と一体の管理保全づくりと実践としての米の役割、食をつくる担い手の役割、担い手のステージをサポートする土地改良区としての役割・機能、食の安全を守る行政としての役割、そうした「つながり」を大事に日本の農業を復興させていく個々の意識改革こそが小さな第一歩を踏み出すのではないでしょうか。

小さな事の積み上げで意識改革を果たしている今回の研修先では、農政にまだ浅い私にも思慮深いものであります。

最後に参加して頂いた事務局長連絡協議会の皆様と会員の皆様へ、本当に楽しく二日間過ごさせて頂き、お世話になりました。また来年も一緒に研修致しましょう。

これは、地方のみならず、国も県も同じことだと思います。

過日、建設会社の社長さんがお見えになり、切実なお話を伺いました。『年々、農業農村整備事業も少なくなり、従業員も半分にするしかなくなった。やっと工事が出たと思つても、今は一般競争入札なので、会津管内の仕事だからと思つても、他の管内から来て落札してしまって、入札価格も原価を割るような値段で落札するので、とてもついて行けない。このままだと倒産するしかない』

会話の中で「雑感」

会津支部
永嶋千代子

されると報じられる中で、私が所管する会津管内においても、近年、市町村・土地改良区の会員を訪問して、その格差を実感として受けとめることができます。

以前は、各地で、ほ場整備事業や、用排水路改修工事が進められ、目にすることが多かつたように思います。米価が低下している今、今回の研修にて、これから農業と向き合う意識改革という事を強く感じました。

食としての米の役割、食をつくる担い手の役割、担い手のステージをサポートする土地改良区としての役割・機能、食の安全を守る行政としての役割、そうした「つながり」を大事に日本の農業を復興させていく個々の意識改革こそが小さな第一歩を踏み出すのではないでしょうか。

会津管内の市町村においては、高齢化率の上昇に伴つて、行政での取り組む施策が多様にわたり、農業農村整備事業を含む公共事業への投資的経費が減少している結果と思いま

す。

これは、地方のみならず、国も県も同じことだと思います。

過日、建設会社の社長さんがお見えになり、切実なお話を伺いました。『年々、農業農村整備事業も少なくなり、従業員も半分にするしかなくなった。やっと工事が出たと思つても、今は一般競争入札なので、会津管内の仕事だからと思つても、他の管内から来て落札してしまって、入札価格も原価を割るような値段で落札するので、とてもついて行けない。このままだと倒産するしかない』

また、先日ある土地改良区理事長さんが、こんなお話をされました。

『今年は、米の価格も下がって秋の

精算もできない農家もあると思う。

以前は、増産々々ということで、多

収穫品種を作っていた頃はよかつた

が、今は量より質が求められ、安

心・安全な米づくりのため反収量も

減少している。このままだと幹線用

排水路の改修工事をしたいが、組合

員への賦課増もなかなか容易でない

ので、少しずつ補修して使うしかな

い。農家も大変だが、これからの土

地改良区運営も大変になってくるな

…』と心配されていました。

また、人ととのつながりが電子

化・IT化により不足する中、心理

的不安を抱き高める人が増えてくる

ように思います。

このような、状態がいつまで続く

のでしょうか？……

誰に、この地方の声を聴いて戴け

るのでしょうか？……

会津の地に住み、昔から変わらな

い風景・自然の中で、先人から受け

継いだ大地を次世代に引き継いでゆ

くためにも、今、私たちは、何をし

なければならぬのでしょうか？

……

会員の皆さんとの会話の中で、感

じ得たことを述べさせて頂きまし
た。

相 双 支 部

蜂須賀 ひろみ

相双支部では、平成十九年十一月

二十八日～二十九日に農業農村整備

事業に関する先進地視察研修を、管

内会員の役職員等十七名参加にて実

施致しました。

今年度は、山形県の農業農村整備

事業についてということで、

山形県村山市「村山東根土地改良区」

①土地改良区の運営について

②土地改良施設の維持管理状況

③21世紀創造運動の活動事例

④農地・水・環境保全向上対策の

取組状況等

山形県米沢市「米沢平野土地改良区」

①土地改良区の合併について

②土地改良施設の維持管理状況

③環境保全の取組状況等について

を、研修致しました。

どちらの視察先でも担当の方々の熱意あふれる懇切丁寧な説明があり、参加者の方々も熱心に質問するなど、とても充実した研修でした。

また、宿泊先の銀山温泉では、意見交換会において、より一層の親睦を

深められたこと」と思います。今回研修に参加されました皆様からのアンケート結果におきましては、農業に係わる県・市町村職員及び土地改良区役職員と一緒に懇談ができたことが大変良かった等との意見がありました。

相双支部では、ご参加していただきました。ご参加していただきました皆さん、いろいろとお世話になりました本当にありがとうございました。

また、当支部では、相双地方土地改良区事務局長連絡協議会の先進地視察研修にも協賛しております。今年度は、平成十九年十一月十四日～十五日に千葉県佐倉市・印旛沼土地改良区において、①土地改良区の運営について、②農業水利施設の維持管理状況、③21創造運動の活動事例、④農地・水・環境保全向上対策の取組状況等、⑤視察見学、ということについて、県職員、土地改良区事務局長及び職員等計十三名にて視察研修致しました。お天気にも恵まれ、こちらもまた意見交換も活発に行われ充実した研修となりました。ぜひ、また多数の皆様のご参加をよろしくお願い致します。

続きまして、管内の一番南側に位置する「広野町土地改良区」をご紹介致します。

「水土里ウォーク・イン・ひろの」
広野町土地改良区事務局長
酒井 京子

訪ねてみませんか？

主 催 「水土里ネット福島」

実施日 平成十九年十一月十日(土)

天 气 雨

①ウォーキング
西の沢ため池の水源を探訪する約4kmのウォーキング

②木工教室
「プランター」・「椅子」の製作

会員の皆さんとの会話の中で、感

の歴史や先人達の偉業なども再発見していただければ」との思いの中、ウォーキングを開始いたしました。雨具を装着してという悪条件のなか、約4kmの道

がなされ、同様に地区老人会の方々の尽力により「環境美化」もはたしている「西の沢ため池」の水源を、「日頃何気なく見ている用水路・ため池などの農業用水施設の役割・大切さなどをよりいっそ理解し、併せて、そ

一〇〇名の方々の参加をいただきました。ま
ず、西の沢地区水利組合により「保全管理」

地元産の野菜・きのこなどを使った「とん汁」
西の沢ため池の公園で採れた「みかん」など



相双支部研修

農業の生産力向上のため、地域特性を生かした独自の生産技術体系や土壤研究、無農薬技術開発に日々研究を重ねている。また、消費者のニーズに答えるため、経営形態に応じた低コスト生産の実現と安全で品質の

1 雜

農業整備事業先進地県外研修
（参加者37名）

いわき支部で開催した研修内容を報告いたします。

いわき支局

モテル事業

視察研修地　臼井第一地区（飼料用稻作ホールクロップサイレージ

・ 農地・水・環境保全対策の取組状況

・ 農業水利施設の維持管理 ・ 21 創造運動の活動事例

研修内容

2日目 佐倉市

良い米を研究しており栽培から出荷にいたるまでを学びました。

から積極的な質問が見られました。参加者はどの部分も共通しており、参加者ほか生産性の向上をはかるため維持管理の合理化、担い手対策として再基盤整備を実施しているそうでした。

● 平成 19 年 11 月 30 日

いわき方部土地改良区職員研修会

(管内土地改良区職員のみ参加)

・ 新たな施設管理システムによる農業水利施設の点検・診断の実施について

いわき農林事務所農村整備部

副部長 星 良孝氏

・ いわき市における事業計画について

いわき市農林水産部

農地課長 佐藤 芳信氏

・ 地域住民と連携した施設管理の必要性について

水土里ネット福島環境整備部

企画専門員 坂内 隆芳氏

研修を振り返って

現在様々な農業改革が進められておりますが、個々の農家に浸透しておらず、政策内容も方向性が見えず、一層農業離れに拍車をかけるのではないかと思います。今後、現場の声に応じた政策を期待し、研修の材料としていきたいです。

● 水土里ネット福島いわき支部意見

交換会

(管内土地改良区理事長、職員参加者35名)

・ 土地改良制度研究会報告後の検討状況について

最後になりましたが、昨年は管内において

内藤雅龜三和土地改良区理事長旭日 単光賞受賞

若松昭雄支部長（鮫川堰土地改良区理事長）農林水産大臣賞受賞

という素晴らしい一年でありました。

本年も皆様にとつて良い年でありますよう心よりお祈り申し上げます。

東北農政局農村計画部
部長 中野 拓治氏

東北農政局土地改良管理課

課長 田村 栄二氏

農地集積を有効にするために昨年より土地改良制度研究会を発足し、

今後の研究課題とするため、参加者からの意見を参考にしたいとのことで、講演後約1時間活発な意見交換が行われました。

そのほか、各土地改良区が抱える問題点や事業に関する質問、意見が多く出され、農政局側からの懇切丁寧な対応に参加者からはとても好評でした。



いわき支部研修

永年勤続

場整備が花盛り、県営についても、大区画水田への移行、そして、農政と一体になつた担い手育成基盤整備等も事業推進されていました。

事務・業務の高度化、省力化への対応をする日々を送りました。

土地連の業務・支援についても、量より質の時代、生産より管理の時

業務ツールや組織ツール等のシステムにたずさわったことも含めて、本当に走りっぱなしの三十年であつたという間でした。

**勤続30年を
振り返って**

水土里ネット福島 小林

私が、土地連に採用になりましたのは、昭和五十一年度、当時はオイルショックの最中でありました。

が、当時を思い返すと、給料前になると、ガソリン代がなくて、「10リットルだけ入れて下さい。」と言つて、スタンドで給油した記憶があります。

昭和五十二年度には、現在も継続している土地改良施設維持管理適正化事業が創設され、最初の担当になりました。当時は、団体営規模が多く、かつた記憶がありますが、既に既存ストックの補修のため事業が創設されていたとは、今思うと驚きであります。

パソコンエンピューラ
いわゆる
PCへの移行となつていきました。
そのような中で、平成三年度から
汎用コンピュータによる単式簿記か
ら公益法人会計基準に基づく複式簿
記システムの開発・構築にたずさわ
り、平成八年度からはシステムのP
Cへの移行、更には、賦課システム、
契約システムの開発構築に携わり、

振興、多面的機能の發揮等を掲げ、環境との調和への配慮を考慮した事業推進となりました。

本会のISO9001・2000版は、今も育つてある最中で、経営業務ツールとして、今後も次代を担う職員へ継承していきたいと思います。

きなことは 土地選り方などない限り
果と思い、私にとつても意義深く、
想い出深いことだと思っておりま
す。

まだまだ早いかと思いますが、今振り返って思うと、人生の経験で無駄になることは一つもないとの感想が残っております。

人に支えられ10年

櫛葉町土地改良区
西山としみ

第三十一回職員連絡協議会におきまして、十年勤続表彰をいただき誠にありがとうございました。平成九年一月に臨時職員として楓葉町土地改良区に配属され、同年四月に本採

用となりました。あれから十年が経つてしまつたことに、月日の流れを感じます。公私共に職場の方々に迷惑をお掛けした事も多々ありました（今でも？）。ここまで勤められたのも、辛抱強い職場の皆様のお陰と深く感謝いたしております。また、研修や会議に出席する際には、双葉郡内の土地改良区の皆さんや土地連相双支部の皆さんにお世話になつてばかりです。いつも本当に難うございます。

私が土地改良区に入る二年前ぐらきをしたのですが、その時までは土地改良区というものが存在するのを知りませんでした。土地改良区職員となり日々勉強です。世代交代し組合員の方が新しくなれば、土地改良区はどういう団体なの？賦課金は何のために支払うの？などという疑問が生じるのも当然だと思います。私が、土地改良区の職員になる前と同じです。土地改良区という存在を組合員以外の多くの方達にも知つていただきたいです。

以前から、ゴミ問題が騒がれております。用水路にゴミを投げ捨てる方もおり、水が流れているので、投げてしまえば目の前からゴミは消えるという訳ではないでしようが、一人一人が安易な気持ちで捨てたゴミ

も、一箇所に集めれば大変な量となります。私の家も道路沿いなので、缶、ビンは勿論のこと、様々なゴミが投げ捨てられます。個人の考え方の違いもありますが、ゴミを投げ捨てればそれを片付ける人もいる事を心の片隅に刻んでいただき、ゴミの問題が今よりも軽減されればと思います。

十年を迎えて、まだまだ勉強不足ではあります。職場や役員の皆さん、そして組合員の皆さんに、少しでも頼られる存在になれるよう努力してまいります。

この温暖化の引き起こる気象変動は、資源や食糧市場への影響が大きく、自由な市場でつけられる「価格」高騰へ繋がっています。この背景には、世界経済の牽引力が先進国から経済発展が著しい人口約30億人のBRICS諸国に移り、BRICS諸国の資源の輸入増があげられます。農産物は、特に気温の変動に脆弱であり、世界で起きている干ばつ被害、砂漠化が進行・恒常化すれば、長期的に食糧危機食糧不足に陥ることが指摘されています。

私は、一職員として、微力ながら農業農村の活性化のために今後とも努力してまいりたいと思います。

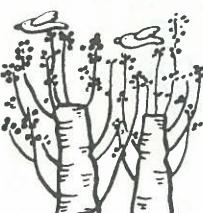
勤続三十年に当たり、寄稿依頼があり、地球環境と農業農村について述べてみます。最近、環境問題が、大きく取り上げられることが、多くなってきました。特に、2007年のノーベル平和賞を、地球温暖化問題に取り組んでいるアル・ゴア前米副大統領（59才）と、国連の気候変動に関する政府間パネル（IPCC）が受賞、「広範な気候変動は、多くの人類の生活や大規模な人口移動を引き起こし、地球資源をめぐる競争を激化させる恐れもある。こうした変化は、世界でも特に弱い立場にある国々に、より大きな負担を強いることになる。国内部あるいは国同士の激しい対立や戦争の危険も拡大する」とする受賞理由、地球温暖化がまさに地球和平への脅威となり得ると指摘されています。

私は、一職員として、微力ながら農業農村の活性化のために今後とも努力してまいりたいと思います。

勤続三十年に当たり、寄稿依頼があり、地球環境と農業農村について述べてみます。

地球環境と日本農業農村の役割

水土里ネット福島
高野久夫



平成19年度視察研修

いただきました。

九月二十七日(木)～二十八日(金)に、
山形県の水土里ネットいなば、水土
里ネット寒河江川の二土地改良区の
視察研修を実施しました。

水土里ネットいなばでは、「農地・
水・環境保全向上対策事業の取り組
みについて」の具体的な説明をして

水土里ネット寒河江川

寒河江市字中川原222の2

受益面積 3,193ヘクタール
組合員数 4,781名

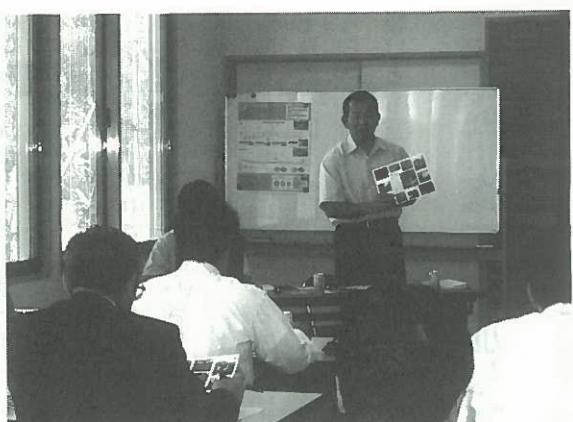


水土里ネットいなば
鶴岡市藤島字笛花16の2
受益面積 1,388ヘクタール
組合員数 941名

水土里ネットいなば
鶴岡市藤島字笛花16の2
受益面積 1,388ヘクタール
組合員数 941名

水土里ネットいなば
水土里ネット寒河江川では、「21
世紀土地改良区創造運動」について
説明をいただきました。

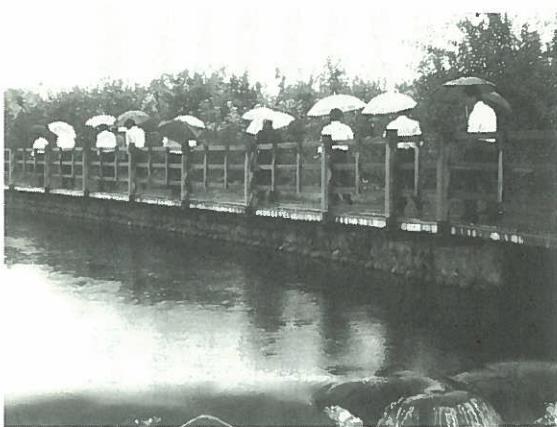
21世紀土地改良区創造運動が全国
的に展開される以前から、水土里
ネット独自の理念に基づき運動が計
画的に行われており、地域と連携し
て様々な活動を行っているとのこと
でした。



水土里ネットいなば

本年度の研修には二十八名の参加
をいただき、ありがとうございました。
県外視察研修は、「県外の模範的
な事業を視察研修し、県内の事業推
進の参考とする」ことを目的として
実施しておりますが、いかがでした
でしょうか？

他の土地改良区で実際に行われて
いる事業の話を聞くことで、日々の
仕事のヒントを得たり、頑張ろうと
いう新たな意欲が湧いたりすること
も多いとか思います。忙しい時期の
研修ではありますが、会員のみなさ
まのご参加をお願いいたします。
研修の感想もいただいております
のでご紹介いたします。



水土里ネット寒河江川 二ノ堰親水公園

研修会における収穫

安積疏水土地改良区 山口 完治

「九月二十七日」朝九時三十分予定時刻通りに、福島県土地改良会館を出発する。

天気は快晴で朝日がまぶしく、カーテンを閉め朝寝につく人もいた。

一路山形県鶴岡市へと、ガイドさんの澄みきつた声で、窓に映し出される場所々々の案内をされているうちに昼食休憩の庄内観光物産館ふるさと本舗に到着。店内は、道の駅風で地産物の山幸、海幸そしてお土産と盛りだくさんの品々があり観光客やら地元の人で賑やかであった。

鶴岡公園（鶴岡城跡）の隣にある史跡旧致道館を見学した。大正期に建築された西洋創りの役所、田麦俣の民家、屋内には当時の農機具や生活用品等が陳列、又倉造りには、漁業に使われた物、運搬舟の実物等々。

一日目の研修先因幡堰土地改良区。富樫達喜理事長が、研修課題である「農地、水、環境保全向上対策の取り組みについて」挨拶され、佐藤総務課長が、「活動への取り組みの背景及び目的」をパワーポイントにより説明された。それによると地

視察研修に参加して

そうま土地改良区 天野 勇一

去る九月二十七日から二十八日の二日間、県土地改良団体職員連絡協議会の主催による視察研修会に参加させていただきました。

一日目の山形県鶴岡市にある因幡堰土地改良区は、ほ場整備事業も完了し現在は施設の維持管理が主な事業と言ったが、21創造運動を積極的に展開しており、小学生を対象にした生態系学習会・いきもの調査や施設のクリーン作戦等、都市部で生活する非農家を対象にした田んぼの学校を開設しての田植・稻刈りなどの農業体験等々、地域住民や学校行政などと連携を図り、限られた職員数（四名）の中でも様々な活動を実施していることに感心させられるばかりの内容でした。

二日目は寒河江市にある寒河江川土地改良区を訪問いたしました。こちらの土地改良区は21創造運動の先駆けとも言える活動を以前から実施しています。

視察研修に参加して

会津大川土地改良区 大竹 幸

しております。21創造運動大賞を受賞するなど外国人の団体も研修に訪れるほど、全国的にも有名な改良区であります。二の堰親水公園の現地視察は、生憎の雨にみまれ大変でした。が、改良区さんで用意していただきた傘の多さにはビックリさせられました。

この二日間の研修は、両土地改良区とも理事長さんを始め職員の土地改良事業に対する意識の高さと、改めて感じさせられた研修でありました。我が土地改良区もほ場整備事業もほぼ完了し、今後は施設の維持管理が中心となります。21創造運動の目標である「地域と共に歩む水土里ネットの実現」を目指し頑張ってまいりたいと思います。

今回共に参加されました皆様そして事務局の皆様には大変お世話になりました。

でいつも不参加でしたが、今回の先進地視察研修は植松さんと二人で参加させて頂きました。

一日目の研修先は、山形県庄内平野のほぼ中央東部に位置する因幡堰土地改良区の視察研修でした。

平成十五年度に21世紀土地改良区創造運動大賞に選ばれ表彰されました。受賞理由としましては、①農業用水の取水施設である「因幡堰」を「地域の大切な財産」として地域住民と一体になつた美化運動に取り組んでいる。②農業用水路や調整池を活用したイベントを開催し、水に触れ合うだけでなく「水の怖さ」を子供達に体感させることで、農業用水や用水路の持つ重要性と危険性の両面を理解してもらう工夫がされている。③NPO・学校・行政など連携を図ることで限られた職員数の中で多様な活動を実施するなど、企画運営力が特に秀でているということです。

その活動内容としましては、ホタルの幼虫放流、さかな救出作戦、生態系学習会、大堰クリーン作戦をとおして、大堰という水路が地域の財産として見直されております。

また、親水イベント・カヌー体験と合わせて心肺蘇生法の講習を行なう

など、その他色々なアイデアで活動を展開していることはすばらしく勉強になりました。

また、近年は農地・水・環境保全向上対策についても、全集落が意欲的に取り組んでおり、その事務処理には四名の全職員で対応していると

いうことに感心させられました。

二日目の研修は、今年度の21世紀土地改良区創造運動大賞地区である寒河江川土地改良区でした。ここは県営事業で整備された二の堰親水公園を中心とした取り組みであり、市内の民間企業、自然愛好会など十六団体が参加して美しい水辺空間を持つ二の堰親水公園の定期的な清掃と保全保護を目的として活動を行つております。

地域と一体となつた維持管理活動により、農業用施設が地域の施設・財産であるという意識が根付いているということがあります。これまでにはご苦労も多々あつたようですが、職員の熱心な取り組みは大変すばらしく感動いたしました。

今回の研修に参加させて頂きましたことに感謝を申し上げるとともに、参加されました職員の皆様大変お世話になりました。

最後に、当土地改良区も役職員の

努力の効果が認められて今年度の21世紀土地改良区創造運動東北地方奨励賞をいただきました。ありがとうございました。

視察研修に参加して

会津大川土地改良区 植松 恵子

県外視察研修に初めて参加しました

事内容などについても詳しく述べました。両土地改良区を研修した。

山形県の水土里ネットいなばは、農地・水・環境保全対策事業に積極的に取り組み、自然や地域住民と一緒に地域の活性化して質の高い元気な地域継続活動へと変えていました。職員の飽くなき向上心と意欲的な活動が快適な将来に向け大きな成果をあげている事や、心理テストの分析など多様な事務レベルの高さに驚きました。職員はじめ地域の方一人一人の「やつて良かった!」という大きな感動が楽しく継続する為の大きなポイントであるという話も印象的でした。

水土里ネット寒河江川では、日本のみならず世界から注目され研修を受けている二の堰親水公園をはじめとする素晴らしい施設を見学しました。

これからも情報交換やストレス解消のために、研修など交流できる多くの企画をどうぞ宜しくお願ひ致します。今回特に女性は5名と少なかつたので、次回は華やかにもつと多数参加しましょう。お世話になりました。

合併の苦労話、職員の合理的な仕



年男・年女



ふと振り返る土地改良区

猪苗代町土地改良区

金本久美子

農業農村整備事業の推進とともに自然環境保全の観点から、現在の有り様と過去の有り様で感じられる問題は何であろうか。又、今まで関わってきた農地の維持管理、整備事業から取り残された落とし穴は、矛盾は何であろうか。事業が終了すれば、一人で考えてもどうしようもないから見ないようにしようと思つて

農地という土地に対する執着心がみんなの意識より失せてきつつあります。

どうしたら、みんなの田園になり、美しい風景として大事にしたいと思ふようになるのか。担い手農家だけの田、畑をどうしたらみんなの生活の一部としての環境として感じられるのか。

補助金をつけ、何々の事業とくらべさせて頂きたいのです。全て水路はコンクリートの製品が入り、用水、排水は段差がつき、排水路は傾斜も急になり、水量が多くなった。昔の、人にやさしい田園風景は、整然とした広い舗装道路がとおる、車の往来も多い風景になつた。のどかな田園風景、集落を囲む田園という意識が、広範囲にわたる農地、耕作者だけの

なふれあいを持つ機会を提案する。提案する内容に行政が補助する。行政が見守る。形にこだわりすぎるところが育たない。本当に難しい問題だと思います。確かに農家だけでなく、地域みんなの事業にするには、欲得だけではない夢も含めたみんなの思いも築くような、事業であつて欲しいも

うなことを時には必要ではないでしょ

うか。新年にあたり心がけたいと思ふことです。

ふり返つてみて

会津大川土地改良区

大竹 伸明

新年あけましておめでとう御座います。

子年の年男といふことで「むつみ」のこのコーナーに寄稿依頼がありまして、書かせて頂くことになりました。何を書いたらよいものかあまり思いつかないで土地改良区に入り社会人として過ごした今までを少し振り返つてみたいと思います。

月日が流れるのはあつといいう間で、土地改良区に入つてから早六年が経過しようとしています。入ったばかりの頃は、まず社会の常識から学ばなければならず、家と学校を往復し、同年代の人としかほとんど交流がなかつた自分にとつては初め

なふれあいを持つ機会を提案する。

心の声を聞くというのはとつても難しいし、信頼関係を築けなければ誰も話してくれません。私たちはじつときけるまで辛抱強く待つてみることも時には必要ではないでしょ

うか。心がけたいと思ふことです。

員、もしくは関係する方々との交流、その他色々な人達との交流を経て貴重な話、為になる話や体験をしてきた自分は、人間として、社会人として幾分はマシになつたのではないかと自分では勝手に思っています。社会人になる前は面白ければやたらはしゃいだり面白くない事があれば自分の意見をどこまでも通して相手と

ケンカになつたりと我慢のなかつた自分が社会に出てみて変わつていき、今までやつてこられた事には胸を撫で下ろしています。時にはそういう事も必要になる事もあるかとは思いますが、それを含め土地改良区の仕事と併に更に世の中の事を学んで成長していくならなと思つております。

今でも現役

表郷 土地改良区 近藤 勝広

高校に入つてから三十年余り野球に関わつてきました。併せて、審判の方にも携わり毎年四月からのシーズンでは、忙しく楽しく活動し、多くの方とのつながりができ親睦を深めています。今でも地域の野球チームに所属し、年間十数試合、審判も含めると三十試合ほど消化し、気持ちの良い汗を流し健康を維持しています。特に夏場のナイター（午後七時半～9時）を終えての飲会は明日の活力を補う面で最高です。

我、表郷地域は十数チームが野球に登録している盛んなところです。昨年には近隣に通う高校生が、地

高校に入ってから三十年余り野球に関わつてきました。併せて、審判の方にも携わり毎年四月からのシーズンでは、忙しく楽しく活動し、多くの方とのつながりができ親睦を深めています。今でも地域の野球チームに所属し、年間十数試合、審判も含めると三十試合ほど消化し、気持ちの良い汗を流し健康を維持しています。特に夏場のナイター（午後七時半～9時）を終えての飲会は明日の活力を補う面で最高です。

我、表郷地域は十数チームが野球に登録している盛んなところです。昨年には近隣に通う高校生が、地

元出身者が憧れの甲子園（夏）に出場を果たしておりうれしい限りです。又、審判の方でも春のセンバツに東北代表として出場した人もいます。そして我が地域には平成七年福島国体（軟式野球大会開催会場、表郷天狗山球場に於いて）を記念し、ポスト国体としまして、施設の有効利用と一層のスポーツ振興を図る為、昨年まで十二回にわたり、東北関東選抜少年軟式野球大会を開催しています。尚私自身も所属している表郷天狗クラブ（開催地枠）もこの大会二回目の第三位の好成績を残しております。ただ残念なのは若者の

野球離れが増えていることです。私は、野球を通して人と人とのおつき合い、つながり、そして心と体のリフレッシュを図り、健康を維持し、仕事に生かしていきたいと思います。



災害は忘れた頃にやってくる

皆さん、新潟県中越沖地震がいつあったか覚えていらっしゃいますか？
衝撃的な出来事も時間とともに忘れてしまいがちですね。
水土里ネット福島の坂内隆芳さんが災害応援派遣で新潟に調査へ行かれましたので、
報告をお願いしました。
災害の時、自分はどう動けばいいのか考えつつご覧いただければと思います。

新潟県中越沖地震農集排災害協定に基づく派遣について

水土里ネット福島 環境整備部 坂内 隆芳

平成19年7月16日発生した新潟県中越沖地震に、農集排災害対策応援に関する協定(以下協定という)に基き、平成19年7月22日より7月29日の八日間、柏崎市西山町の農業集落排水事業管路施設事前調査を行って参りました。

これは、協定の事務局である(社)地域資源循環技術センター(旧集落排水協会JARUS)からの要請によるもので、全国の土連、市町村等の賛同者が協定を結んでいるものであります。

以下に、事前調査内容と被災状況についてご報告致します。

1. 調査地区	① 中川・礼拝地区 ② 別山地区 ③ 西山南部地区	管路延長 24. 2 km 4. 2 km 10. 8 km 計 39. 2 km	末端一戸の単独分別途 マンホール箇所数 約1300箇所
2. 調査方法	班編制 1班～3班編制 調査項目 マンホールの状況	5人～7人編制 沈下・浮上計測・マンホール深計測 マンホール破損・ずれ・漏水状況	管路状況 突き出し・引き抜き・たわみ状況
3. 記録	調査票・写真・白板による		



マンホール
道路陥没と隆起



マンホール
液状化による噴き出し



中継ポンプ
引き込み柱沈下と傾き

4. 被災状況

今回の調査区域では、管路としての機能低下区間はあるが、管路の破断等致命的な機能不能に陥っている箇所は調査区域ではありませんでした。

処理施設については、場内の舗装等には亀裂・陥没等の被害は見受けられますが、施設本体は稼働しており、目立った被災は見られませんでした。

しかし、道路の亀裂、陥没箇所は無数にあり、上下水道、都市ガス、一部に温泉管路のライフラインの復旧に見通しが立たない状況がありました。

一番被災を受けたものは家屋であり、全壊までは至らないが危険の赤紙が張られた家屋が目立っていました。

農地被害については、調査が進んでいないことも考えられるが、今回の調査地域においては目立った被害は確認出来ませんでした。



処理施設放流管破断
(西山南部地区)



処理水の溢水状況



道路を覆った物置

5. 今回の派遣で思うこと

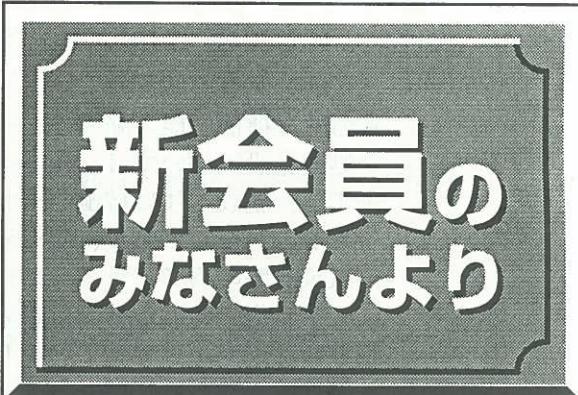
地震災害の現場を間近に見て、ライフラインのあり方を考えさせられました。上下水道完備の生活は快適で便利なものですが、一度このような災害に遭うと脆さを露見してしまいます。今回は上水道、都市ガスの復旧に手間取ったことが、市民生活の回復に大きな障害となりました。

私自身も長年農業集落排水事業に携わって来たものとして、生活環境の快適性・利便性と災害に強い生活環境の構築は何か相反するもので、絶対に壊れないものが無い限り永遠のテーマかもしれません。

そんなことを考えながら、現在取り組んでいる農業用水利施設の管理の方に思い悩んでいるこの頃です。

また、中越地方は3年前にも大きな地震災害に遭遇しており、その後遺症が残ってたままでの被災は、地域の方々に大きなダメージとなっていると感じました。

1日も早い復興と、地域に明るさと活気が戻ることを願っております。



ると知りました。

農業がこれほど厳しい状況にあるとは思つていませんでした。私が子供の頃は、個別に水稻だけを作付けて経営するところが多かつたのですが、いまや、法人化、集団転作、高付加価値農業の波に乗らないとやつていけなくなっています。

と思ひます。



的に供給している農業・農村では、はるかに高齢化や担い手不足のほか、主要農産物の価格低落などの影響をまともに受けて、農業経営がピンチに立たされております。

今や我が国では、食料の実に六割を海外に依存している。その背景には、こうした事情が大きな要因のひとつに挙げられています。

国民の生命と健康を食の面から担っている農業が再起できるかどうかの分岐点にあると言つても決して過言ではないと思つております。

処方箋は、果たしてあるのだろうか。そんな中で迎えた平成二十年は、十二支第一番の子年（ねどし）であります。

同時に三十年に及ぶ歴史と伝統のある本協議会の一員として、仲間入りをさせていただきました。今後ご指導、ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

さて、早いもので今の職務に就いて九ヵ月余りが過ぎ少しづつ、仕事にも慣れ農業・農村の抱えている課題や厳しい環境が分かつてくるにつれ与えられた任務の重さを痛切に感じております。

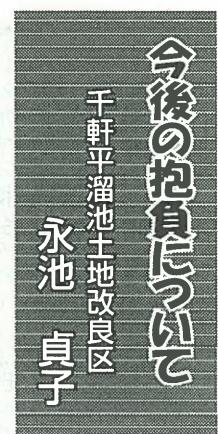
特に、この処食品の偽装問題がつぎつぎと明らかになるなど、「食」を巡る話題には、事欠かないといった情況が続いております。

一方、目を農業サイドに転じてみると、安全で安心できる食料を安定



今年の四月から地元に戻り土地改良区で仕事をさせていただいております。日々責任の重さを実感する毎日です。農家の息子ではありました
が、農業のことはよく分かっていませんでした。土地改良区に入つて初めて農業用水が無料ではないと初めて知りましたし、農家が安定して営農活動を行うためには改良区が水利維持や、各種制度の運用を縁の下の力となつて行うことで成りたつてい

以上甚だまとまりのない文章になつてしましましたが、皆様の限りないご多幸を祈りつつ筆を擱かせていただきます。



会員の皆様はじめまして、私は今年度新会員という事で、寄稿の依頼を受けました。とは言つても、この土地改良区には十年間お世話になつております。

私の勤務する土地改良区は、千軒平溜池の維持管理、経営体育成基盤整備事業二地区の事業実施及び一地区の採択希望地区を抱えており、現在は二名の職員で頑張つております。

事務局長と二人で土地改良区の全ての業務を分担する訳ですから、仕事の幅は広く会計係、庶務係、賦課金徴収、ほ場整備事業の専門的知識その日によりいろいろな知識及び対応が要求されます。

この十年間、日々忙しい中、事務局長は仕事に対する心構えをたくさん教えてくださいました。お客様に

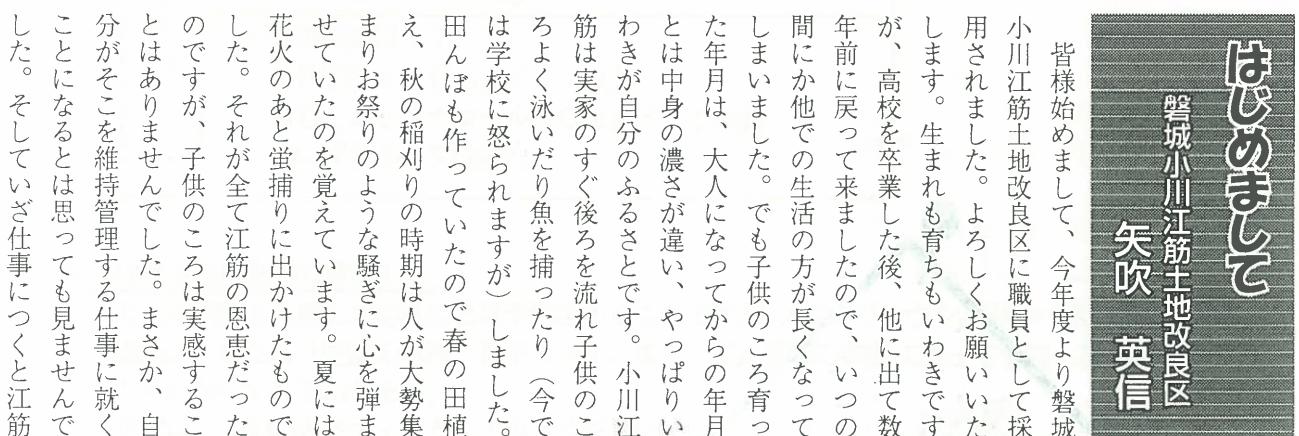
対しては、帰られる際は常にそとに出てお見送りし、腰が低く、いつも明るく、仕事は後にまわさず即実行がモットーです。

当土地改良区の自慢は、賦課金及び特別賦課金、事業分担金の未収金がないことで、三年に一度の「132条検査」の際には、いつも褒めていただいております。

今後の抱負としまして、今年度より正職員として働かせていただく事になり、素晴らしい上司より教えていただいた心得を守り、組合員の皆様の大切な水資源の千軒平溜池を守り、農業生産性の向上、効率的な農業経営の確立を図るためにほ場整備事業の推進を進め、「農地・水・環境保全向上対策」につきましても微力ですが地域の一員として支援していくことを二名の職員で頑張つております。

私生活においても、子供もそれなりに手がかからなくなってきたので、健康のため今年は、ママさんバレーでも挑戦してみようかと・・・それともテニス?!

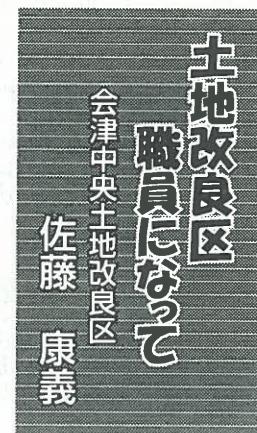
たまには気のあう仲間たちと飲みに行く時間を作りたいと思つております。



皆様始めまして、今年度より磐城小川江筋土地改良区に職員として採用されました。よろしくお願ひいたします。生まれも育ちもいわきですが、高校を卒業した後、他に出て数年前に戻つて来ましたので、いつの間にか他での生活の方が長くなつてしましました。でも子供のころ育つた年月は、大人になってからの年月とは中身の濃さが違い、やつぱりいわきが自分のあるさとです。小川江筋は実家のすぐ後ろを流れ子供のころよく泳いだり魚を捕つたり(今まで学校に怒られます)しました。田んぼも作つていたので春の田植え、秋の稻刈りの時期は人が大勢集まりお祭りのような騒ぎに心を彈ませていたのを覚えています。夏には花火のあと螢捕りに出かけたものでした。それが全て江筋の恩恵だったのですが、子供のころは実感するところになるとは思つても見ませんでした。そしていざ仕事につくと江筋

についてまったく知識が無いことに気づきました。どこから取水してどこに流れ着くのか。いつも豊富に流れる水が田を潤し、大雨の時でもさほど大きな災害に巻き込まれることもなく、それが当たり前のように感じていました。しかし、それがどれだけ多くの人の努力によって支えられてきたかが分かりました。畠違いから転職とあって戸惑うこともありますが、役職員の皆様方に親切にご指導を頂いているところであります。現在、維持管理を担当しているのは自分ひとりですが、他の改良区や土地連の方に協力を頂き、相互のネットワークのよさに助けられ心強く感じています。今後は少しずつでも農業を始め、組合員の立場からも自分たちの仕事を見つめていけるようにしていきたいと思います。どうぞ皆様今後ともよろしくお願ひいたします。





います。前職が小売・サービス業だった経験はこれからも生かすことが出来ると思いました。

平成十九年三月より勤務し協議会の新会員となり右も左もわからないですが皆さんの協力で日々なんとか業務をこなしております。

さて、わたしは新会員ということですが決して若くもないでの気持ちちは新社会人のつもりで行動しているたいと思つています。以前の仕事は、農業とは無縁でしたし、土木関係の仕事でもなく現在の業務に生かせないのではと思い、特に新しい気持ちでと考えました。

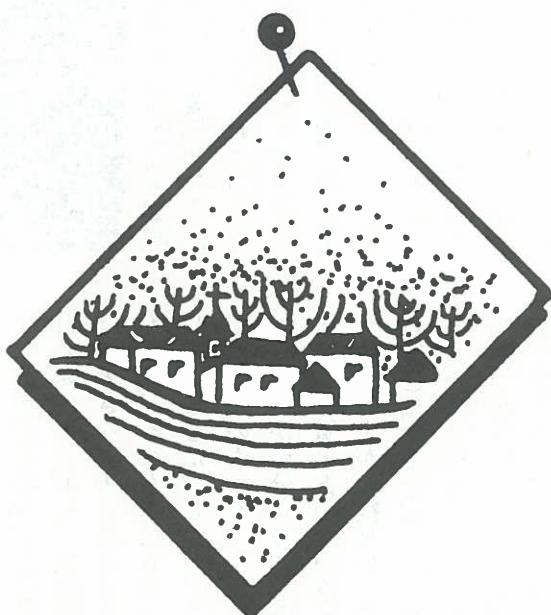
入職後まもなく色々な研修や会議等に参加する機会を得て土地改良事業の数々や法規則の数々…見聞きできました。正直、あまり覚えられませんが携わったところから少しづつ蓄積させていきたいと思つています。

専門的なことは、日々覚えなければならぬですが、組合員のための改良区職員と考えれば組合員第一に行動することが大事で、改良区の仕事はサービス業と同じなのだとと思

ります。サービスとは商品を安く提供することではなく、その商品が買う人に有益であるかどうかを伝えることであると、サービスは“物”ではなく、“コト”をさすものだよと。

一見、土地改良事業の成果が目で見えるものの価値で判断されがちですが、事業制度を理解し長期的な視野に立つて地元組合員に伝えることで、今後の行動として行きたいと思ひます。

まだ、専門知識が少ないので今までの経験にプラスさせて色々なことにチャレンジし今後の改良区が良い方向性を見出して行けたらと思いました。



気をつけていますか？

メタボリックシンドローム

メタボリックシンドロームとは？

最近マスコミのあちこちでメタボリックシンドロームという活字が目立っているような気がしませんか。身に覚えがある方もいらっしゃると思いますが、男性ならば腹囲が85cm以上、女性ならば90cm以上あって、「血圧が高い」・「空腹時血糖値が高い」・「脂質代謝異常」のうちのふたつ以上あるもの、という場合が当てはまります。

①内臓脂肪蓄積：	
	腹囲が 男性で 85cm以上、 女性では 90cm以上、
①を必須として、	
右の ② ③ ④ のうちの ふたつ	②血圧高値： 収縮期血圧 130mmHg以上 拡張期血圧 85mmHg以上 のいずれか、又は両方
③高血糖：	
	空腹時血糖値 110mg/dl以上
④血清脂質以上：	
	中性脂肪 150mg/dl以上、 HDLコレステロール 40mg/dl未満 のいずれか、又は両方

なにはともあれ肥満の解消！？

どんな病気でも最も大切なことは予防をすることですが、メタボリックシンドロームの予防は「肥満防止」または「肥満の解消」だそうです。また、生活習慣の改善によって予防・改善できることもわかってきております。

まずは、下記の表でチェックしてみてください。

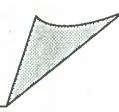
チェックしてみよう

- | | |
|----------------|-----------------|
| ・食事は満腹になるまで食べる | ・おやつをよく食べる |
| ・料理に砂糖をよく使う | ・味付けは濃いほうが好き |
| ・緑黄色野菜をあまり食べない | ・アイスクリームを好んで食べる |
| ・階段よりエレベーターを使う | ・運動の習慣がない |
| ・お酒を飲むことが多い | ・タバコを吸っている |

◆あてはまる項目が多い人は 要注意◆

運動不足セルフチェック！

- Q 1. エレベーターやエスカレーターをよく使いますか？
1. はい 2点 2. ときどき 1点 3. いいえ 0点
- Q 2. 外出の際、短い距離であれば歩くように心がけていますか？
1. はい 0点 2. ときどき 1点 3. いいえ 2点
- Q 3. 休日は家でゴロゴロしていることが多いですか？
1. はい 2点 2. ときどき 1点 3. いいえ 0点
- Q 4. からだを動かすのがおっくうですか？
1. はい 2点 2. ややそう思う 1点 3. いいえ 0点
- Q 5. 1週間で、運動のための時間をどのくらい作るようになっていますか？
1. 3日以上 0点 2. 1日程度 1点 3. していない 2点
- Q 6. 毎週体重を量るようにしていますか？
1. はい 0点 2. ときどき 1点 3. いいえ 2点
- Q 7. 夕方や夜に、1日の疲労を感じますか？
1. 非常に疲れる 2点 2. やや感じる 1点 3. 疲れない 0点
- Q 8. 2階まで階段を昇ると疲れますか？
1. 非常に疲れる 2点 2. やや疲れる 1点 3. 疲れない 0点
- Q 9. この先、運動を定期的におこなう自信がありますか？
1. はい 0点 2. どちらでもない 1点 3. いいえ 2点



運動不足の判定!!

17点以上 危険度 ★★★★★

危険です。これまでの生活を
振り返り直ちに意識改革を！

13～16点 危険度 ★★★★

要注意です。
活動的な生活を意識しましょう。

9～12点 危険度 ★★★

もう少し積極的に体を動かして
みましょう。

5～8点 危険度 ★★

良好です。



0～4点 危険度 ★
素晴らしいです。

さて、いかがでしたか？

食生活に問題がないかチェックしたりウォーキングなどをして、過食と運動不足に気をつけ、
毎日健康で楽しく生活できるようにしたいものですね。

おかげさまで みなさまとともに50年

水土里ネット福島はみなさんのパートナーです!

農業農村整備事業の調査・設計・施工管理

農業農村整備事業等は国及び県の補助事業として実施されるため、その調査・設計・施工には、関係機関との協議・調整の下、技術基準の適合性、経済性の説明が求められます。

本会は、この支援に長く携わっており、高い技術力と経験を備えております。今後とも、より一層の会員サービスに努めてまいります。

ほ場整備事業の支援

ほ場整備事業においては、計画から実施設計、換地処分までを一体的な業務と捉え、技術支援を行ってまいります。

計画策定においては、換地計画を見捉え、権利者や関係機関との連携により、地域実情にあった計画樹立に努めております。

農業集落排水事業の支援

農業集落排水事業においては、調査・計画・実施・施工管理・維持管理のすべての業務に一貫して携わり、経験豊富な高い技術力を備えた技術者が多数おります。

関係機関との連携の下、適切な処理方式の選定など地域の実情に即した提案に努めてまいります。

農地・水・環境保全向上対策や地理情報システムへの取り組み

農地・水・環境保全向上対策や地理情報システム(GIS)の構築など新たな事業に、これまでの技術や経験の蓄積を活かして積極的に取り組み、関係機関との連携の下、地域農業の発展や農業農村の振興に貢献するとともに、農業用排水施設の維持管理(ストックマネジメント)支援にも努めてまいります。



水土里ネット福島の登録内容

- ISO9001:2000/JIS Q 9001:2000(H19.2.23付、登録証番号JQA-QMA13143)
- 建設コンサルタント(H12.12.3付、建12第7079号、農業土木部門)
- 一級建築士事務所(H19.4.9付、第11(904)1975号)
- 計量証明事業登録(H7.7.3付、第環34号)
- 測量業者登録(H17.6.2付、登録第(2)-26856号)
- 浄化槽保守点検業者登録(H15.5.14付、福島県知事登録第1353号)
- 産業廃棄物処分業(H17.11.18付、許可番号0720122234号)
- 農業農村整備事業発注者支援機関認定(H18.10.16付、第0606号)

(平成20年1月4日現在)



みどり
水土里ネット福島

(福島県土地改良事業団体連合会)

〒960-8502 福島市南中央三丁目36番地

TEL:024-535-0371 FAX:024-535-1200

<http://www.midorinet-fukushima.jp/> E-mail:info@midorinet-fukushima.jp